



# 持続可能社会の グランドデザインと イノベーション

昨年発生した未曾有の震災後、まさに復興の只中にある日本においては、新しい社会のビジョンそしてそこへ向けたグランドデザインの再設計が求められています。また、これらのビジョンに相応しい科学技術や制度を一体となって創造していくこと、そして様々な主体（ステークホルダー）が社会の方向性やビジョンを共有しつつ協働を進めていくことが、社会変革・イノベーションの鍵となります。本シンポジウムでは、各分野の第一人者をお呼びし、エネルギーシステムを一つのテーマとして取り上げ、これから目指すべき社会、持続可能社会のグランドデザインについて考えます。後半のパネルディスカッションでは、持続可能社会実現に向けた科学技術の役割とイノベーション推進の可能性について広く議論を行います。

2012年5月26日（土） 15:00-18:00

大阪大学会館 講堂（大阪大学豊中キャンパス内）

<https://55099zzwd.coop.osaka-u.ac.jp/daigaku-hall/>

- 参加費無料 / 定員 450 名
- 参加登録 [event\\_register@ceids.osaka-u.ac.jp](mailto:event_register@ceids.osaka-u.ac.jp) まで  
お名前、御所属を記載の上お申し込みください。
- 問い合わせ  
06-6879-4150（大阪大学環境イノベーションデザインセンター事務局）  
大阪大学 CEIDS ホームページ <http://www.ceids.osaka-u.ac.jp/index.html>

持続可能社会の  
グランドデザインとイノベーション

大阪大学CEIDS / SSC 一般公開シンポジウム

# PROGRAM

《総合司会》原 圭史郎 / 大阪大学環境イノベーションデザインセンター 特任准教授

## 開会挨拶

15:00— 馬場 章夫 / 大阪大学 理事

### 第一部

## 基調講演

15:10—15:50 『日本「再創造」—プラチナ社会の実現に向けて』  
小宮山 宏 / 三菱総合研究所理事長・東京大学総長顧問

### 第二部

## 講演

15:50—16:20 講演①『分散型エネルギー社会に向けた大阪ガスの取り組み』  
嘉数 隆敬 / 大阪ガス株式会社 本社支配人 理事

16:20—16:50 講演②『都市からエネルギーを考える』  
下田 吉之 / 大阪大学大学院工学研究科教授

### 第三部

## パネルディスカッション 17:00—18:00

『持続可能社会を支える科学技術とイノベーション』

《コーディネーター》

栗本 修滋 / 大阪大学環境イノベーションデザインセンター特任教授

《パネリスト》

加賀 有津子 / 大阪大学大学院工学研究科教授

花木 啓祐 / 東京大学大学院工学系研究科教授

一方井 誠治 / 武蔵野大学環境学部教授・京都大学特任教授

宮井 真千子 / パナソニック株式会社役員環境本部長

《討議内容》

「サステナビリティ」を実現するためには、大学、行政、企業、市民など様々な主体が一体となり、低炭素・循環型・安全安心社会等の真に豊かな社会の実現を目指してビジョンを描くと同時に、これらのビジョン達成に向けて相応しい科学技術を創造していくことが重要となります。パネルディスカッションでは、昨年の大震災の教訓も踏まえ、これからの豊かな社会のグランドデザインと、相応しい科学技術・制度設計の在り方、多様な主体のパートナーシップの在り方等について議論を行います。

## 閉会挨拶

18:00— 武内 和彦 / 東京大学サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S) 機構長・教授、国連大学副学長

### 大阪大学会館



# ACCESS

## 大阪大学会館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-13

TEL : 06-6850-5977 FAX : 06-6850-5979

《交通のご案内》

阪急宝塚線「石橋駅」下車、徒歩約 15 分 /

大阪モノレール「柴原駅」下車、徒歩約 15 分